

クール CHOICE 絵合わせカード 解説

準備) ①外側の切り取り線で切りはなす (4枚の絵合わせカードができます)
 ②1枚選んで、線にそって紙のたて、横に3本ずつ、ていねいに折り目をつける
 遊び方) 見本を見ながら4つの四角の絵を合わせて、順番に8種類完成させよう。
 「COOL CHOICE」までできるかな。



(滋賀県温暖化対策課・滋賀県地球温暖化防止活動推進センター)

COOL CHOICEについて くわしくは
<https://ondankataisaku.env.go.jp/coolchoice/index.html>



わたしにもできる！

もうやっていることもあるかな？「地球にやさしい暮らし」を選ぼう！



おいしく
食べよう
きせつの
やさしい



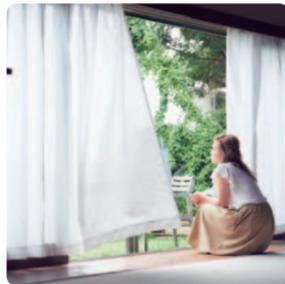
のこさず
食べて
ごみもへらそう



れいぞうこ
あけたら
すぐしめよう



おふろは
つづけて
いろいろね



あついとき
さむいとき
カーテンを
しめよう



夏は
食べもので
からだを
すずしく



お水を
だいに
つかおう



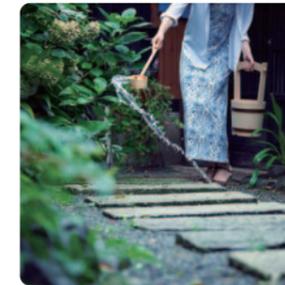
クールチョイス
ちきゅうに
やさしい
あいことば

やってみてね！

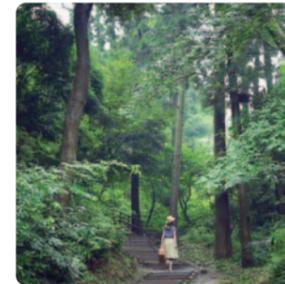
今日からすぐにとりくめる、身近なクールチョイスです



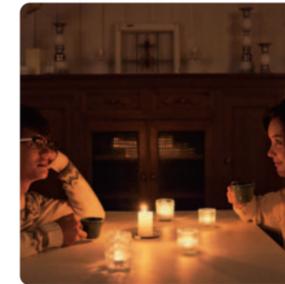
あつい日は
日がさや
ぼうしを
わすれずに



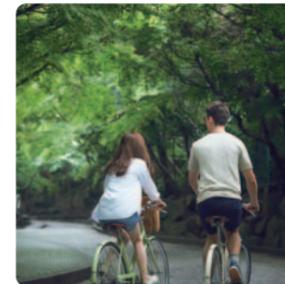
うち水で
すずしく
すごそう



森や
水べで
自然のすずしさ
を感じよう



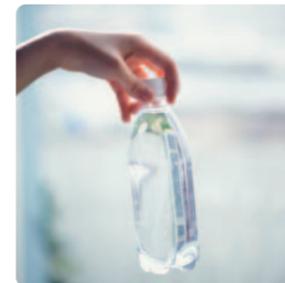
でんきを
つけずに
おはなしを
たのしもう



じてんしゃで
楽しみながら
おでかけしよう



おでかけは
車のかわりに
でんしゃや
バスで



ペットボトル
きれいに
あらって
リサイクル



クールチョイス
ちきゅうに
やさしい
あいことば



- 用紙: 琵琶湖の環境保全活動を支援する寄付金付びわ湖環境ペーパー 適切に管理された森林の木材を利用したFSC®認証用紙
- インキ: 大豆油インキを含む植物油インキ
- 印刷: 有害な廃液を排出しない水なし印刷
- 製造・廃棄に発生するCO₂を滋賀県内の排出削減事業者のクレジットによりカーボンオフセット済
- CO₂排出量: 45.7g/部

クール CHOICE 絵合わせカード 解説

- 準備) ①外側の切り取り線で切りはなす (4枚の絵合わせカードができます)
 ②1枚選び、線にそって紙の縦、横に3本ずつ折り目をつける

遊び方) 見本を見ながら4つの四角の絵を合わせて、8種類の「COOL CHOICE (賢い選択)」を完成させてください。



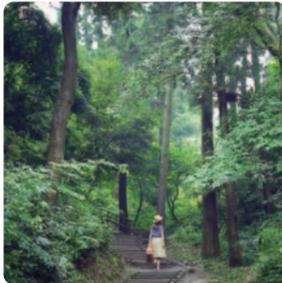
(滋賀県温暖化対策課・滋賀県地球温暖化防止活動推進センター)

COOL CHOICEについて くわしくは
<https://ondankataisaku.env.go.jp/coolchoice/index.html>



今日からやろう クールチョイス

いつもの暮らしにプラスして。少しチャレンジしてみよう。



**水と森の国、日本。
つまり避暑地だらけです。**

水と森に溢れた日本では、水と森を目玉とした避暑地も沢山あります。沢山の生き物が息づく森に行ったり、海や湖、街中を流れる川などの水辺で過ごすことも、どちらもクールシェアとなります。



時短料理は、CO₂が少ない料理でもある。

一つの鍋やフライパンで段取りよく料理したり、グリルで違う食材と一緒に焼いたり。ガスの使用時間を短くすれば、CO₂排出削減につながります。



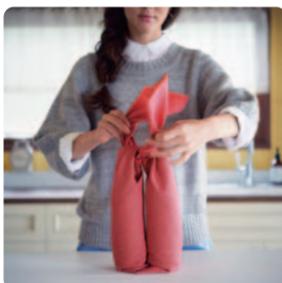
電気を消した2時間は、いつもと違う話ができる2時間だ。

夜8時から10時までの2時間、全国の施設や家庭の照明の一齐消灯を呼び掛けるライトダウン。2015年は夏至とクールアース・デーの両日で、48,340施設が参加し、約410トン(約28,000世帯が1日に排出する量)のCO₂削減につながりました(速報値)。



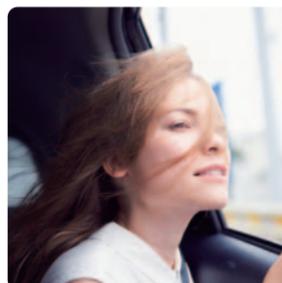
ペットボトルの来世は、結構いろいろある。

使用済みのペットボトルは、繊維やシート、卵のパックなど、様々な製品に生まれ変わっています。最近では、ペットボトルからペットボトルをつくる取組が広がっており、ゼロからペットボトルをつくるよりもCO₂排出を削減できます。



上手なラッピングとは、必要に応じた包装を選ぶこと。

全国の百貨店では、使い道にあった包装を選択する「スマートラッピング」の取組を呼びかけています。容器包装材料使用量を減らすため、ふるしきの普及やマイバッグの利用を推進し、CO₂削減に貢献しています。



エコドライブ、ふんわりアクセルを踏めば、温暖化にブレーキがかかる。

自家用車による年間のCO₂排出量は1億1520万トン。もし、みんながエコドライバーになったら、その10%程度のCO₂が削減できると言われています。



地域の食材なら、輸送のCO₂も少ない。地球にもおいしい話です。

近くで栽培された食材を選ぶと地産地消になり、CO₂排出削減に貢献できます。また、地域の生産者を応援することにもつながります。



日頃の小さな選択が未来を大きく変えていく

「COOL CHOICE」は、日々行っている選択に、「温室効果ガス排出量を抑えるモノ・コトであるか?」という視点を加えて、未来のために「賢い選択」をしていこう!という取り組みです。この矢印が、「賢い選択」のヒントです。

いつか選ぼう クールチョイス

買い替えの時、お出かけの時。選んでみてください。



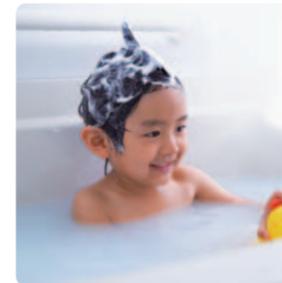
財布にやさしいカーシェアリングは、もちろん環境にだって優しい。

1台の自動車を複数の会員が共同で利用するカーシェアリング。車の維持費を複数の利用者で分担できるとともに、利用時間に応じて料金を支払うことができる経済的なシステムです。最近ではEV車でのカーシェアリングなど、さらなるCO₂排出削減を見込める取組も始まっています。



ハイブリッド、電気自動車、燃料電池車…。エコな選択肢で悩める時代が来ました。

エコカーを選択することは、低炭素社会の大きなポイント。2030年の日本では、車の2台に1台が次世代自動車(ハイブリッド、電気自動車、プラグインハイブリッド、燃料電池自動車、クリーンディーゼル車等)になることを目指しています。



ガスというエネルギー源は、エコな未来の鍵を握っている。

天然ガスは、化石燃料のなかでも、燃焼時のCO₂排出量が少ない「クリーンエネルギー」。さらに、天然ガスから取り出した水素と空気中の酸素から電気をつくり、そのときに出る反応熱をお湯として利用する「エネファーム」(家庭用燃料電池)を取り入れると、CO₂排出削減につながります。



近ごろの冷蔵庫は、氷だけじゃなく、省エネもつくってくれる。

家庭のなかで、一番電気を消費している家電製品は冷蔵庫。最新の冷蔵庫に替えると、10年前の製品と比べて約72%の省エネになります。



節電も節水も。今どきのトイレは、省エネの切り札になる。

10年前に購入した温水洗浄便座と比べると、今売っている製品の年間の消費電力は約29%も低減できます。テクノロジーの進化で洗浄水量も少なく済み、年間洗浄水量が約60%も節水できる製品もあります。



LEDが照らし出すのは、環境に優しい未来です。

家庭のなかで、二番目に電気を消費しているのが照明。省エネ性と長寿命で注目を集めている電球型LEDランプに替えると、一般的な電球と比較して約80%の省エネになります。



ノンフロンを選ぶ店を利用することは、環境にやさしい店を応援すること。

地球温暖化対策の新しい切り札として、フロン類を使わず、さらに省エネルギー性能も備えた省エネ型自然冷媒機器に注目が集まっています。省エネ型自然冷媒機器を導入する店舗が増えることが、地球温暖化対策につながります。



日頃の小さな選択が未来を大きく変えていく

「COOL CHOICE」は、日々行っている選択に、「温室効果ガス排出量を抑えるモノ・コトであるか?」という視点を加えて、未来のために「賢い選択」をしていこう!という取り組みです。この矢印が、「賢い選択」のヒントです。